

プロジェクト完成式



Colaboración del
Pueblo Japonés

2018年11月27日

11月27日、ハバナ県マリアナオ市にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「ハバナ県熱帯医学研究所附属病院 HIV/エイズ検査機材整備計画」の完成式が行われました。式典には、高次医務官および森田書記官が出席し、被供与団体であるケア・インターナショナル・キューバ事務所リチャード・パターソン代表のほか、マヌエル・ロメロ熱帯医学研究所所長らが参加しました。



開発途上国における保健医療分野の課題は、国の社会経済活動に直接影響を与えることから、我が国の政府開発援助(ODA)援助方針における重点分野と位置付けられています。特に HIV/エイズは一国のみならず全人類に対する脅威であることから、日本は HIV/エイズ対策において様々な取り組みを行っています。

本プロジェクトでは、国際 NGO ケア・インターナショナル・キューバに 63,298 ユーロを供与し、HIV/エイズ患者の検査に用いられる高度な医療機材を供与しました。より早く正確な検査を効率的に行うことによって、適切な治療の実施が可能となり、患者の負担軽減と生活の質向上に寄与することが期待されます。



案件概要:

案件名:「ハバナ県熱帯医学研究所附属病院 HIV/エイズ検査機材整備計画」

供与金額: 63,298 ユーロ

被供与団体: ケア・インターナショナル・キューバ

概要: ペドロ・コウリ熱帯医学研究所附属病院の臨床研究所に、HIV/エイズ患者診療のための検査機材を整備する

ハバナ県マリアナオ市



Colaboración del
Pueblo Japonés

在キューバ日本国大使館
開発協力班

Tel: (+53) 7204-3355, 7204-8904

cooperacioneconomicscuba@hv.mofa.go.jp